

「那須まちづくり広場」を視察しました！

NPO 都市住宅とまちづくり研究会
総務部会長・人と暮らし部会長
五十嵐一博

2023年6月4日（日曜日）。早朝から神田駅近くの銀行前に集合し、都市住宅とまちづくり研究会（以下、「としまち研」という。）主催で、「那須まちづくり広場」視察ツアーを行いました。

「那須まちづくり広場」は、廃校になった朝日小学校と校庭を活用し、校舎1階はカフェやマルシェ・交流ホール・福祉施設、2階はゲストハウスやセーフティネット住宅など多種多様な機能をもつ施設にコンバージョン。隣接するプールは介護のサ高住、校庭には自立のサ高住や隣接地には終末期ケア施設があります。

としまち研では、毎月第一木曜日に様々なジャンルの講師をお招きして「一木会」を開催していますが、2023年2月2日（木）の第327回一木会の講師として、株式会社VANSの木村よしひろさんに「那須まちづくり広場」のお話をしていただいたところ、一木会参加者のみなさまから、是非、現地視察に行きたいとの声が多く出て、この度のイベントとなりました。

梅雨の始まりの時期であり、天候を心配しておりましたが、参加者のみなさまの日頃の行いがよいのか、好天に恵まれました。交通渋滞もなく、車内では目的地までの間にとしまち研恒例の「一分間スピーチ」での自己紹介。研究者から学生まで幅広いメンバーでの視察がスタートしました。東北自動車道を、途中で休憩を挟みつつ約3時間、最初の目的地である「那須まちづくり広場」に到着です。



お馴染み、黄色い「はとバス」



みとりえ玄関にて集合写真

日頃から「那須まちづくり広場」に出入している新建築家技術者集団群馬支部の新井隆夫さんの案内で、まず、敷地の東南端にあるナースと暮らすシェアハウス「みとりえ那須」に行き、そこで座学と施設見学を行いました。

運営スタッフには家族を病院で亡くされた方もおり、「病気を抱えた方でも、最後の最後まで自然体で暮らせる場所をつくりたい」という思いで施設をつくられました。在宅看護やグループホームでは難しい吸引や点滴にも対応可能で、終末期でも充実した毎日を楽しく過ごせるように介護士がサポートを行います。お風呂はなんと木製で、利用者の方もお風呂を大変楽しみにされているようです。また、建物には東日本大震災の復興支援住宅で使用したログハウスの材料を再利用しており、各所に木を現した暖かな空間になっていました。見学後は施設内の食堂でおいしいカレーを頂きました。



座学の様子



昼食の様子



再利用されたログ材



木製の浴槽

昼食後は、廃校になった小学校をコンバージョンした「文化交流館」に移動しました。RC 構造躯体を現して高い天井高さを実現し、壁や開口部の断熱性能を上げることで寒さ対策が重要な那須地域での快適な室内環境を確保しています。ギャラリー、店舗、交流ホール、マルシェ、食堂に加え、デイサービスや放課後デイサービスなどの福祉施設、さらに賃貸住宅やゲストハウスも併用しています。



「那須まちづくり広場のコミュニティづくりのこれまでとこれから」と題して、那須まちづくり株式会社 取締役 鎗木孝昭さんのお話を伺いました。

那須まちづくり広場の運営母体である一般社団法人コミュニティネットワーク協会では、女性や高齢者が豊かに暮らせる住まいづくりを30年以上に渡って取り組み、「より良い住まいづくり」=「より良い地域づくり」を目指し10を超える自治体の地方創生を支援。那須町や地域住民の方々の参加型で運営し、暮らしに必要なもので地域にないものはつくり、実践を記録・公開し、他地域でも活用できるモデルを目指しています。バスツアー参加者からは多くの質問がでて、充実した質疑応答となりました。



構造を現した開放的な空間



鎗木さんの講義・質疑応答



小学校の校庭に建築された、サービス付き高齢者住宅

那須まちづくり広場視察後、近隣の「ゆいま〜る那須」に向かいました。「ゆいま〜る那須」は、一般社団法人コミュニティネットワーク協会が 2010 年に開設。豊かな自然環境、緩やかな斜面地に中庭を囲う様に木造平家（一部2階）を配置した、サービス付き高齢者住宅です。入居者の主体的な活動が特徴で、中庭の手入れをしたり、自由室・音楽室をみなさんでイベントや教室に利用されていました。



隣接する牧場で、ソフトクリーム



ゆいま〜る那須

中庭を囲む木造平家





自然を眺められる、開放的な食堂

全ての視察が終わり、帰路につき、途中のサービスエリアで、お土産を購入しつつ、渋滞に巻き込まれながらも無事神田駅近くの出発点に到着。コロナ禍もあり久しぶりに大人数でのバスツアーで不安もありましたが、施設の方々や参加者のみなさまのご協力もあり大変有意義な1日となりました。今後もしまち研では色々な視察ツアーを検討していきますので、是非ご興味のあるかたはご参加ください。

※本稿は、新建築家技術者集団（略称：新建）東京支部が発行している会報誌「ホワイエ」8月号にも寄稿、掲載されております。

新建・東京支部 「ホワイエ」8月号のホームページ

<https://nu-ae.com/tokyo/2308foyer-616/>